

樹木の冬芽や木肌の特徴をじっくり観察しました。アサダやキハダははっきりした特徴があり見分けがつかますがアズキナシはタテ縞がかすり模様のように見えたり、それとは全然違ったりするので、見分けるのは難しい！樹皮に地衣類がついていたり、同じ樹木でも若木と老木では樹皮は相当異なるらしい。樹皮が黒いのはイヌエンジュ、白っぽいのはコシアブラ、、、？



カミキリムシが出てきた穴



裏側にはツリガネタケがついていた。



森には木肌の異なった樹木が並んでいる。



アサダの樹皮はガサガサ



赤色は地衣類の仕業



ハリギリ



オニノヤガラ



シナノキの小枝と芽がまっ赤！



オオカメノキの小さなウサギさんは春に花が咲くよ。



キタコブシの芽が膨らんできた。